

衛生害虫対策について

高温多湿の夏季にはアブ、ハエ、ダニ等の衛生害虫の発生が多くなりますが、これらは様々な疾病を媒介して衛生的な被害をもたらすばかりでなく、家畜に多大なストレスを与え、生産性にも影響を及ぼします。そこで、今月号では衛生害虫の防除についてまとめてみました。

衛生害虫の防除には、環境対策と殺虫剤等の薬品による対策が重要となります。殺虫剤は、その特性を理解し、適切に使用することで最大限の効果を発揮しますので、殺虫剤を上手に活用し、この時期は暑熱対策とあわせて、衛生害虫の防除に努めましょう！

【環境対策】

- ・生息域の減少 → 畜舎周囲の草刈り（野生動物対策としても重要）
- ・畜舎内の個体数減少 → 粘着シート
- ・畜舎周囲の個体数減少 → アブトラップ
- ・発生減の除去 → 水源の除去、畜舎及び堆肥舎の汚水の除去
- ・畜舎への侵入防止 → 防虫ネット（防虫剤含有だと効果アップ）



【殺虫剤】

○ 神経系に作用する薬剤

- ・ピレスロイド系（成分：シフルトリン、フルメトリン、ペルメトリン、フタルスリン）
- ・カルバメート系（成分：プロポクスル、カルバリル）
- ・有機リン系（成分：トリクロルホン、プロチオホス、ジクロルボス、フェニトロチオン）
- ・ネオニコチノイド系（成分：イミダクロプリド、ジノテフラン）

➡ 成虫に作用するものが多い（一部幼虫にも効果あり）。畜舎や周辺の草むらに散布し、成虫を駆除。7、8月はハエの発生がピークとなるので、散布頻度を多くし、殺虫剤への抵抗性対策として、異なる系統に切り替えながら使用してください。

※ 畜体に寄生するダニ、シラミ対策としては、マクロライド系駆虫薬（イベルメクチン等）の投与も有効です。

○ 昆虫の孵化、蛹化、脱皮等を阻害する薬剤

- ・昆虫成長制御薬（IGR）
（成分：ピリプロキシフェン、シロマジン、ジフロベンズロン、エトキサゾール）

➡ 卵から幼虫の段階で作用する。排水桝等の除去できない水源に散布。

★注意点：殺虫剤には、①畜体への散布が可能なもの、②畜体への散布は禁止のものがあります。

①の場合には、休薬期間がありますので、出荷の際は御注意ください。

夏場における死亡牛のBSE検査及びレンダリング処理について

蛋白ミール公社では、夏場（7月～9月）において、死亡牛の腐敗防止の対応として、土曜日午後の特別業務を実施しています。死亡牛の腐敗が著しく、適切な化製処理が困難となった場合、月齢に関係なく**処理料 35,500 円**徴収されることとなります。飼養する牛が死亡した場合には、搬出するまでの間、風通しの良い日陰に保管する等の腐敗防止対策をとり、迅速に蛋白ミール公社へ搬入し、適正な処理を実施してください。また、搬入される際は、時間厳守でお願いします。

1. 対応期間：令和3年7月1日～9月30日
2. 期間中の土曜日の受付時間
午前 8：30～11：30（通常どおり）
午後 1：00～3：00（特別業務）
※7月22日（海の日）、8月9日（振替休日）、8月14日（盆休み）、9月20日（敬老の日）、9月23日（秋分の日）は休業
7月23日（スポーツの日）は祝日ですが、特別業務として開場
3. へい死畜（牛、山羊等）受付の問合せ連絡先：0968-26-3766
4. 注意事項
48ヶ月齢以上の死亡牛については、死亡牛届出書の提出が求められます。届出書の記入は、牛の所有者もしくは、死体を検案した獣医師が記入することが義務付けられています。

近隣諸国における悪性伝染病発生状況

病名	型	発生地（国）	畜種	発生年月日
高病原性 鳥インフルエンザ (HPAI)	H5N8	ロシア	野鳥	令和3年5月29日
	H5N5	台湾（2件）	家禽	令和3年6月6日
	H5N8	中国	野鳥	令和3年6月11日
アフリカ豚熱 (ASF)		韓国	豚・野生イノシシ	令和3年6月8日～25日
		マレーシア（2件）	豚	令和3年6月2日、16日
		ロシア	豚	令和3年6月12日

令和3年(2021年)6月30日現在

☆☆☆☆☆ 害虫対策の豆情報 ☆☆☆☆☆

○ ハッカ油

- ・ハッカ油の匂いは、害虫に忌避作用を示します。
- ・ハッカ油をサラダ油等で希釈し、蓄圧ポンプで畜体へ噴霧します。
（サラダ油だと数時間は持続。水で希釈した場合は持続性なし）
- ・虫刺されによる被害が激しい場合に有効ですが、根本的な解決には至りません。他の対策も同時進行でお願いします。